

おもてなし花壇（2021年8月）

1 おもてなし花壇について

愛知県は1962年以降58年連続して日本一の花き産出額を誇り、多様で高品質な花きを生産する「花の王国」です。

「花の王国あいち」をPRするとともに、県民の花壇づくりのモデルとするため、愛知県庁本庁舎玄関前にあいちの花をふんだんに使用した「おもてなし花壇」を設置しています。

2 おもてなし花壇の風景

カラーリーフや青系のトレニア、ニチニチソウなどを使用することで、暑さが厳しい真夏に涼やかな雰囲気を感じられるような花壇となっております。また、コキアのふわふわした樹形により可愛らしさも演出されております。



3 使用した花の種類

今回の花壇には次の花きを使用しています。(★はおすすめ)

			
★①コキア (稲沢市産)	★②スーパートレニア カタリーナ アイスリバー (稲沢市産)	★③ニチニチソウ 季のしらべ (稲沢市産)	④ケイトウ メリダ (田原市産)
			
⑤アジュガ (設楽町産)			
			
⑥ストロビランテス (稲沢市産)	⑦イポメア (豊橋市産)	⑧ランタナ (稲沢市産)	⑨ミカニア (稲沢市産)
			
⑩観賞用トウガラシ ブラックパール (稲沢市産)			

★おすすめの花

①コキア	ふんわりとした草姿がユニークでかわいらしい植物です。 最初は緑色ですが、秋になると紅葉しとても鮮やかで美しい赤色に変化します。
②スーパートレニア カタリーナアイスリバー	暑さや雨、病気に強く、初心者でも育てやすい品種です。
③ニチニチソウ 季のしらべ	花色が季節によりブルーやピンクに変化する面白い品種です。 (紫外線や気温によって変化します。)